

4月から開始いたしました資源物のコンテナ等収集にご協力いただき、ありがとうございます。
 これまでに収集できなかったものや分別が必要なものについての事例をご紹介しますので、出し方、分別の参考にしてください。

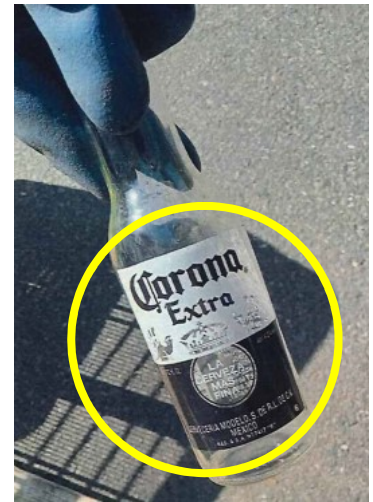
ビン類の出し方・分別のお願い



写真のようにビンの口に中フタが付いているものは、全てはがしてから出してください。
 ※ラベルははがさなくてよい。

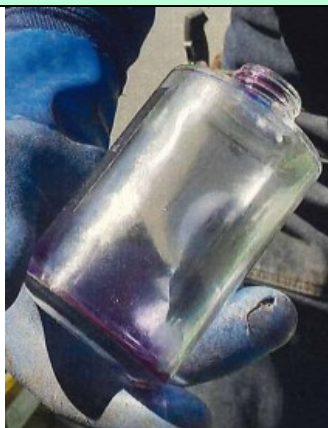


中が汚れているものは洗ってから出してください。
 汚れが取れない物は燃えないごみの袋で出してください。



ビンに直接印刷(印字)されているものは、ビンの色に関係なく、その他の色のビンで出してください。

燃えないごみの袋に入れて出すビン類の例



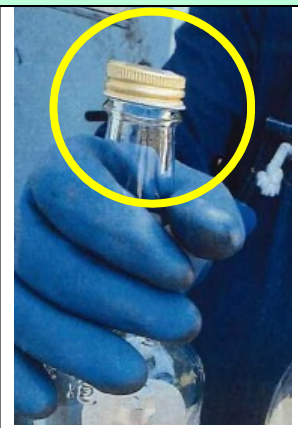
化粧品のガラス容器



塗料や溶剤などのビン
 ※事業で出たものは出せません



油などの汚れが取れないビン



フタ、キャップは外して分別
 ※プラ製のは燃えるごみ

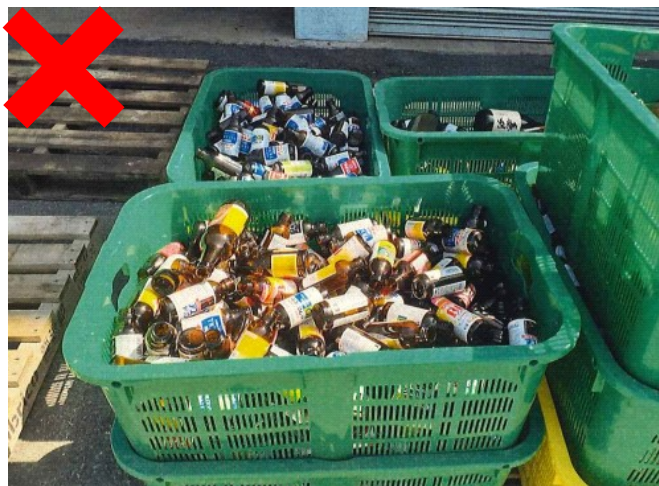
ビンのリサイクル

ガラスビンには2つの種類があります。

- ①リターナルビン(一升ビン、ビールビン:回収後に洗浄して何度も使うビン)
- ②ワンウェイビン(飲料、調味料などのビン:色別に分けて細かく砕かれ、ビンの原料やビン以外のものの原料として再利用されます)

リサイクルをするためにきちんと分別して、資源の消費やごみの減量化につなげましょう。

ビン類のコンテナ詰め込み量の目安について(お願い)



○(推進員、当番の方への)出し方のお願い

ビン類は、コンテナに満杯に入れるとかなりの重量になります。

地区推進員さんや当番の方、収集業者、クリーンセンター作業員が作業をされる際に腰を痛めたりする可能性があります。

ビン類はコンテナの6割程度を目安に入れていただくようにお願いします(地区での収集終了後、余裕のあるコンテナにまとめられなくて結構です)。

安全に作業できるためのご協力をよろしくお願いいたします。



(お願い)

リサイクルできる缶やビンが、燃えないごみの袋で出されているものがあります。

リサイクルできる缶類やビン類は資源物としてコンテナ等収集で出しましょう。

分別をすれば、資源としてまた再利用できます。

身近な取組としてリサイクルを推進して、きれいな地球環境、自然環境を次世代に残していきましょう!



神崎市ホームページにも同じ内容を掲載しておりますので、ご参考ください。